

<p>【技術の名称】                  アスコラム工法                  ースラリー系機械攪拌式深層混合処理工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第11-27号                  性能証明発効日：2012年3月6日</p> <p>【取得者】                  麻生フオームクリート株式会社</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、特殊攪拌装置の先端からセメント系固化材スラリーを地盤中に吐出しながら原位置土と機械的に攪拌混合し、柱状の地盤改良体を地中に築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。

【技術開発の趣旨】

深層混合処理工法では、粘性の強い改良対象土が攪拌翼に付着して一緒に回転する現象（共回り現象）が生じて、固化材と改良対象土の攪拌混合が不良となり改良体の品質に問題が生じる場合がある。本技術に用いる特殊攪拌装置は、掘削ヘッドを装備した内軸と攪拌翼を装備した外軸からなる二重管構造となっており、内外の両軸を正逆同時回転して地盤を確実にせん断することで、土の共回り現象を抑制することを意図して開発したものである。また、剛性の高い二重管構造を採用することで、堅い中間層や玉石混じり層などでの施工性を向上させている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。  
 申込者が提案する「アスコラム工法 施工マニュアル」に基づいて築造される改良体は、400kN/m<sup>2</sup>～2,000kN/m<sup>2</sup>の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土、粘性土およびロームともに 25%を採用できると判断される。

攪拌混合装置

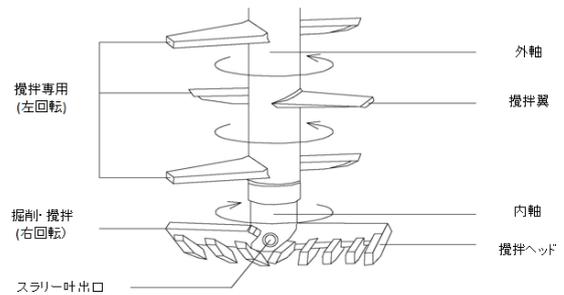


図.1 攪拌混合装置



写真.1 攪拌混合装置

適用範囲と施工改良径・掘削長の実績

適用範囲

改良径：φ1200～2000mm  
 施工長：L=2m以上 33m以下  
 設計基準強度：Fc=400～2000kN/m<sup>2</sup>

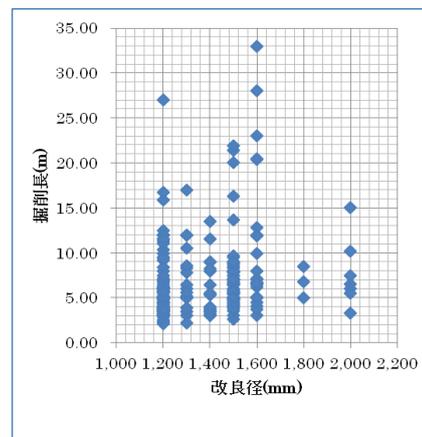


図.2 改良径、掘削長の実績

【本技術の問合せ先】

麻生フオームクリート株式会社 担当者：大川正太郎  
 〒211-0022 神奈川県川崎市中原区荻宿 36 番 1 号

E-mail：ookawa-s01@aso-group.co.jp

TEL：044-422-2142 FAX：044-411-9927